

従来編 オフィス・店舗等部門 優秀賞

生活協同組合 コープあいづ

令和3年度「福島議定書」取り組みの概要

温室効果ガス削減目標

温室効果ガスの排出量を、2030年までに2013年比45%以上削減する。2050年までに90%以上削減する。

※今後、福島県のカーボンニュートラル宣言を受け、更に高い目標への更新を検討しています。



節電の取り組み

LED照明

店舗の天井照明やスポットライトなどは、すべてLED照明に変更しています。



夜間の停止

店舗の飲料冷ケースやお惣菜売場など、閉店後の冷却を停止しています。また、プレハブ冷蔵庫のファンも夜間は停止させています。

室外機の冷却

空調機・冷ケースの室外機に自動噴霧装置の設置し、タイマーによって、ピークとなる時間帯に自動噴霧装置で室外機の熱交換フィンへの水かけを行い、効率のより運転とピーク時の電力消費の抑制を行っています。



配管の断熱により放熱ロスを抑制

フロン使わない冷ケースの導入

フロン対策だけではなく、同じような冷ケースと比較して約15%程度省エネになります。

また、蓋つきのケースを採用し、冷気の流出を防ぎます。



効率的な配送コース

宅配や灯油の配達コースを、地図システムを活用して定期的に見直しをしています。エコドライブシステムを活用し、無駄なアイドリングや急発進急ブレーキなどを行っていないか確認して、ECOで安全な運転に取り組んでいます。



適応分野の取り組み

温暖化に伴う災害リスクを最小限にする為、3日前からのラインを策定し、いち早い事業再開を目指します。

プラスチックの削減

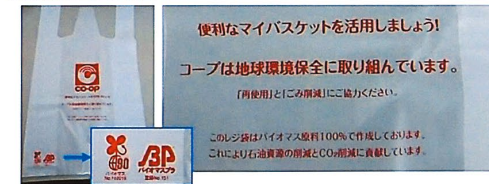
マイバッグ持参の取り組み

コープあいづでは、これまでもレジ袋を使用しない取り組みを行っており、レジ袋辞退率は約90%となっています。使用しないことで、原油で38,046Lの削減、CO₂で15,311kgの削減となります。

バイオマス素材のレジ袋

レジ袋を、バイオマス素材のプラスチックに変更し、化石燃料由来のプラスチックの削減をしています。

切替によって、原油で4,361Lの削減、CO₂で17,551kgの削減となります。



エシカル消費

プラスチックの使用量を抑制したペットボトル飲料や再生プラスチックを使用したレトルトカレーなどの普及を行っています。



ラベルの長さを短くしました
本体の重量 31g→24g



回収ペットボトルを使用した包材を使用。